

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2375700933 |
| 事業所名 | グループホーム 福住苑 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|------|--|----|
| 重点項目 | 事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2) | 評価 |
| | 自治会に加入している。町内の展覧会や菊花展を見学している。地域の人がボランティアとして訪問したり、ホームに認知症の専門医を招き、認知症への理解を深めてもらえるように地域の人たちにも声かけしている。 | |
| 重点項目 | 運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3) | 評価 |
| | 運営推進会議は年6回以上行っている。参加者は民生委員、区長、町福祉課、地域包括支援センター職員、家族、理事長、管理者等である。入居者の状況やホームの行事などの報告及び予定を伝え、民生委員、区長から地域の情報や意見をもらいサービスの質の向上に繋げている。 | |
| 重点項目 | 市町村との連携(外部評価項目:4) | 評価 |
| | 積極的に福祉課を訪問し、ホーム便りを持参したり、ホームの実情や行事等の情報を伝え連携を深めている。市町村主催の講習会にも参加している。 | |
| 重点項目 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6) | 評価 |
| | 入居者や家族の要望、意見は、年1回の家族面談や訪問した際に聴いている。訪問できない家族には、職員から電話で行事の案内や入居者の状態を知らせる時に聴き、運営に反映させている。ホーム便りは、2カ月に1回発行されている。 | |
| 重点項目 | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | |
| | 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | |
| | 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | |
| 総合評価 | | |

【過去の軽減要件確認状況】

| | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|
| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
| 総合評価 | × | | | | | |

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|----------------------|---|
| 2.事業所と地域とのつきあい | (例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3.運営推進会議を活かした取り組み | (例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4.市町村との連携 | (例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6.運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。 |

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。